

この一年を振り返って

区長部 安心、安全、快適な若槻地区を目指して

区長部長 村田 秋廣

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の対応に追われた一年であり、その結果として、区長部のいくつかの主要行事を実施できませんでした。

戦没者追悼式は、参加者が高齢化しており感染対策が十分に行えないため、遺族会と相談の上本年は無理をせず中止する事としました。また、第3回若槻フェスティバルも感染予防対策が十分取り切れないと判断し、残念ではありますが中止としました。近隣住自協との交流も同様に中止としました。

その他の区長部事業については、規模の縮小や人数制限など感染対策を講じて開催してまいりました。

中でも「ようこそ市長室へ」では、①若槻コミュニティセンターの建て替えについて、②北部幹線の古里小学校までの延伸に伴うバス交通網の再編について、③「地域助け合い事業の再編について」と市提案の見直しについて、の3件について加藤市長と懇談し、次善策を提示していただきました。

区長部視察研修では、堤防が決壊し大きな被害にあった長沼地区と篠ノ井地区を視察し、改めて災害のすさまじさを目のあたりにしました。災害は一瞬で引き起こされるが復旧・復興には多くの歳月と費用が掛かることを知らされ、千曲川のような大きな河川が無い若槻地区でも、地震などに対する防災意識の向上が今最も重要だという事を改めて痛感いたしました。

2月中旬には、コロナウイルス感染症の感染警戒レベルが全県1に引き下げられましたが予断を許す状況ではありません。次年度の区長部事業も感染対策を十分に行った上で最大限実施してまいりますので、皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



篠ノ井地区視察

生活安全部 コロナ禍で頑張った一年

生活安全部長 和田 光人

生活安全部は若槻地区の住民の安全を守る活動はもちろんのことですが、若槻の未来を背負う子供たちが安全で健やかに成長できる様な街でありたい、と思いをそれぞれの事業を進めている部署です。

主な活動として、交通安全部会に於いては交通安全防犯教室と市道に於ける誘導標識の維持管理(白線引き)があります。この事業は規制標識ではありませんので、市から材料を支給して頂き白線の劣化状況に合わせて年1回補修をしています。

交通安全防犯教室は、コロナ禍のため最初の計画は一旦中止し下期に延期しての実施も考えましたが、それも出来ませんでした。交通安全運動に併せての児童への街頭指導は学校の休校により一部実施が出来ませんでした。

防犯部会の活動も年度当初の会議や関係個所との打ち合わせなどが出来ず、特に「歩いて見守るパトロール」に協力いただく皆様には、十分な説明のないまま途中からのスタートとなりご迷惑とご心配をおかけしました。多数のご意見を戴いた中で改善出来る点は改善しながら7月より実施しました。ご協力いただきました皆様本当にありがとうございました。

その他青パトによる「車で見守るパトロール」「青少年地区定期パトロール」は、地域のみんがが見守っている事を知らしめる為にも必要な事業ではありますが、今年は全て計画通りには実施できませんでした。次年度は年度当初にご協力いただく皆様にも、事業の必要性の説明と実施方法の周知徹底を図り実施しますので、皆さまのご協力をお願いします。



歩いて見守るパトロール